



# 南高SSHだより

第11号  
H28.2.1  
新潟南高等学校  
SSH部発行

## サイエンスイングリッシュ「環境学習」が開催されました

環境問題の解決に対する意識向上と、3月に行われる英語による「環境プレゼンテーション」に向けての研修として、SSE I「環境学習」が開催されました。

日時：平成27年12月16日（水）14時50分～16時45分

対象：新潟県立新潟南高校理数コース1年9組生徒42名

会場：同校生物実験室

講師：長岡技術科学大学 技術科学イノベーション専攻  
教授 山口 隆司 先生

留学生 ナミタさん(ネパール)、アデリンさん(マレーシア)

講義内容：水を中心とした環境問題について

(1) 相互理解、科学を組み立てる論理的思考法の確認

最初に、10m飛ぶことができる紙飛行機を折り、みんなで飛ばしました。これが「論理的思考法」になります。すなわち、論理的思考法とは、次のような流れになります。①目的→②現状整理→③問題点列挙→④課題→⑤課題解決方法→⑥目的達成の評価・判断。

(2) 世界・日本の水環境の状況の講義

山口先生より、世界の水質汚染について講義がありました。日本の下水より汚い水を生活用水に使っているところもあるなど、その深刻さに驚きました。

(3) 研究室の留学生から各国の水環境の状況の話題提供

マレーシア、インドそれぞれの国の水環境について、英語によるプレゼンテーションがありました。生徒にとって、プレゼンテーションの良い手本となりました。

(4) まとめ、質疑応答、アンケート記入

参加したすべての生徒が、講義は興味深く、環境問題に興味・関心が高まり、自分のためになったと答えました。講義が終わった後も質問が多く出ました。

### 生徒の感想より

・一番初めに飛行機を作って10m飛ばしましたが、私はなぜそんなことをするのだろうか疑問に思いました。しかしそれは論理的思考法を説明するための触りであると分かって、とても説得力があっておもしろい説明だと思いました。事実、私は目的を挙げられてから、現状整理して、しっかりと丁寧に折って完璧な左右対称の紙飛行機を作ろうと思って作ったのですが、飛ばす時に、力を加え過ぎて飛行機が空気抵抗によって全く飛ばなかったため、飛ばし方という新たな課題を見つけました。これらの一連の思考はまさに論理的思考だと説明を聞いて気づき、山口先生が人は自然に論理的に考えているとおっしゃられている内容がとてもよく分かりました。

・日本の水は世界的に見るととてもきれいだけれど、それだけで満足してはいけなくて、世界の水質汚染は、自分たちにも関わっていることを改めて実感しました。エビなど日本が大量に輸入しているものは、実は汚染された水でとられていたものであったり、など、もはやその国だけでなく、世界の問題になっているんだなと思いました。もしこのまま水質汚染が進んでいけば、5人に1人の幼児が亡くなっていくと耳にしたときはとても驚いたし、悲しいことであると思いました。工業の発展も大切なことであるけれど、その底にある人間の生活も大切だと分かりました。

